

「雨の情報」「川の水位と危険性」「川の予警報」などを
リアルタイムでお知らせするウェブサイトです。

<https://www.river.go.jp/>



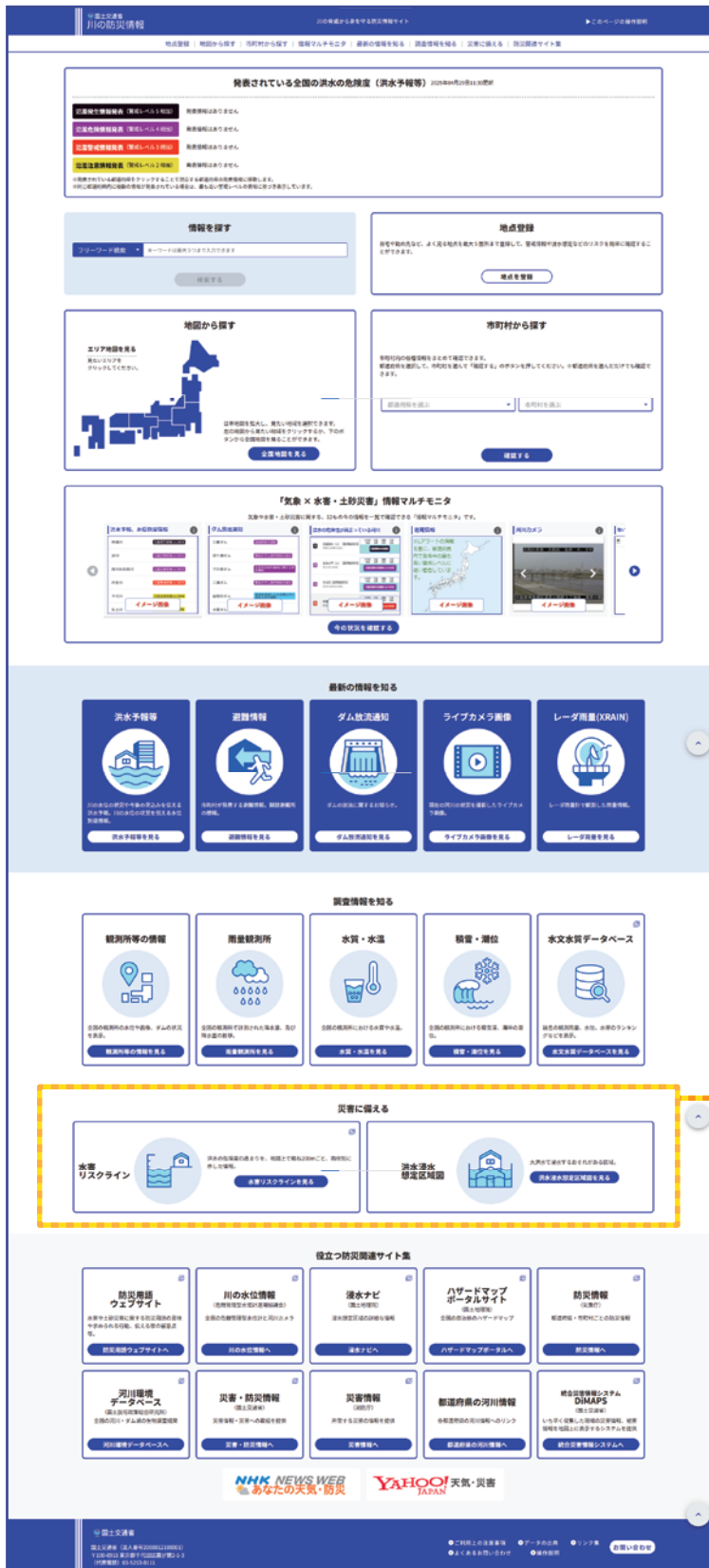
国土交通省

川の防災情報

point 1

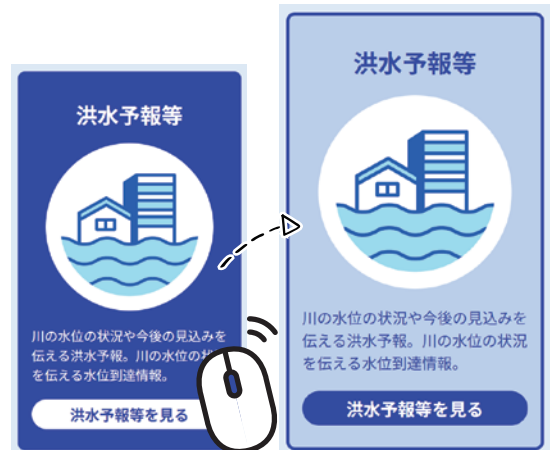
トップページが使いやすくなりました

- アイコンを大きく表示することで視認性・操作性が向上し、目的の情報を見つけやすくなりました。
- 「災害に備える」として、災害時に知っておいた方が良い情報にアクセスしやすくなりました。



マウスオーバーで色が反転

▶コンテンツを選択しやすくなりました。



“災害に備える”の新設

▶災害時に役立つ情報をまとめて確認できます。

スマホ版もリニューアル！



旧サイトトップページ (PC)

point 2 過去の画像を閲覧することができるようになりました※

●過去の日付(時刻)を設定すると、直前の1～2時間のカメラ画像をコマ送りで表示することができます。



(日時設定)

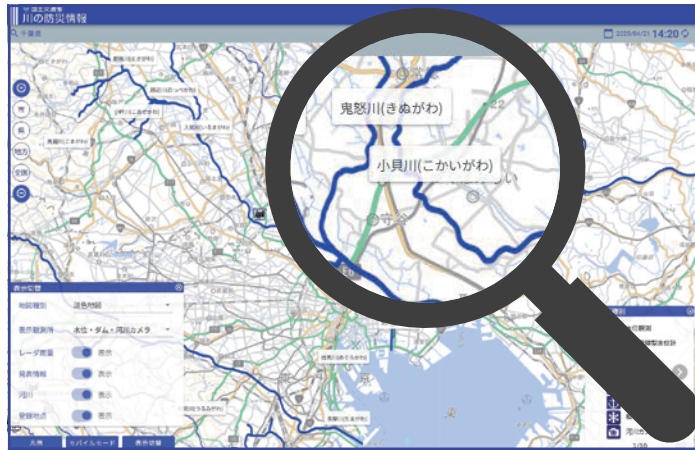


※現状で全て地域のカメラが見られるわけではありません。順次対応していきます。

point 3

河川名を表示できるようになりました

●画面に表示されている地図内の河川名を表示できます(表示/非表示を設定することができます)。



point 4

任意の場所を5地点登録できるようになりました

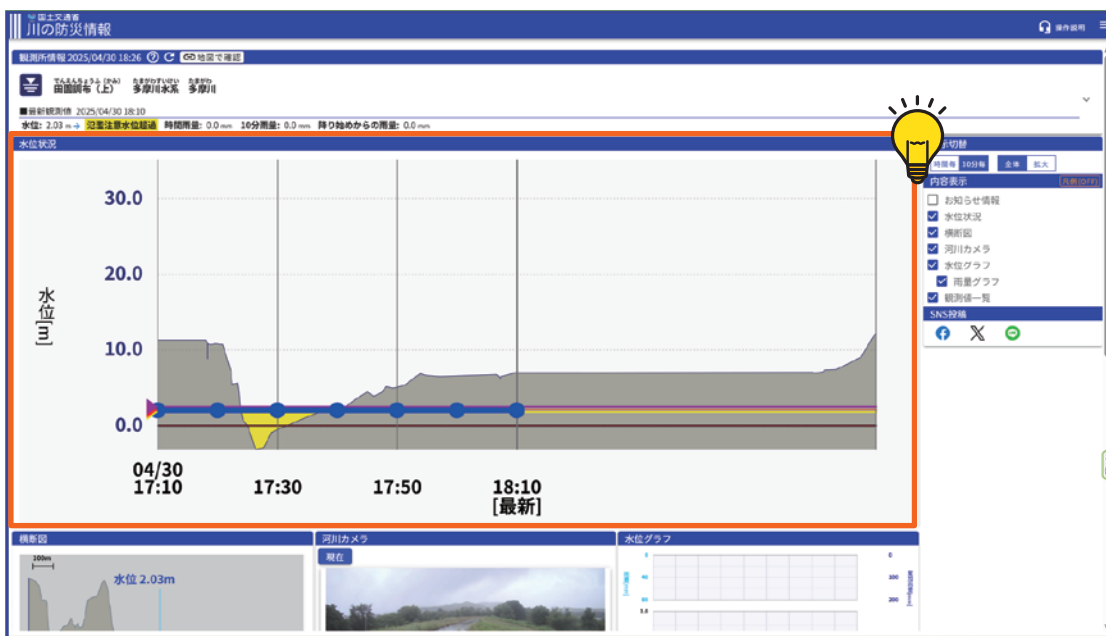
●地点登録できる場所が3箇所から5箇所になりました。(地点登録すると近隣にある観測所も自動的に一括で登録されます)



point 5

1つの画面で水位状況を確認できるようになりました

●河川横断面図と水位グラフを同一画面に重ねて表示することで、一度に全ての情報を確認できるようになりました。



水位状況

河川横断面図



水位グラフ

旧サイト水位表示

本資料のお問合せ先

(一財) 河川情報センター

tel : 03-3239-8447

e-mail : frics@river.or.jp

2026年 災害危機管理研修のご案内

2日間の
集中講座

明日、起こるかも知れない大災害…

その時、あなたは適切な行動がとれますか？
河川氾濫を想定した情報の収集・判断・対処行動等、
実践的な訓練を行います！

対象

地方公共団体や国の防災担当者等

開催
期間

2026年11月上旬の2日間

研修
場所

一般財団法人河川情報センター
(東京都千代田区麹町1-3 ニッセイ半蔵門ビル)

募集
人数

30名程度 ※先着順ですが、1機関あたりの参加者数を
絞らせていただく場合があります。

研修
参加費

20,000円 ※交通費、宿泊費、食費は含みません。
宿泊先は各自でご手配ください。
※研修参加費の納入方法等につきましては、受講申込後にご連絡します。

申込み

6月頃に河川情報センターHPで申し込みサイトを公開します

研修
日程

◇2日間で、①防災や災害対応についての講義、②ロールプレイング
方式の図上訓練、③図上訓練結果を踏まえた討論を行います。
◇1日目は午後からスタート、2日目は18時頃解散の予定です。

研修風景



	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00			
1日目	このスケジュールは予定であり 変更する場合があるのでご注意ください				受付	オリエン テーシ ョン	水防行政の基礎と 最近の話題 についての講義	休 憩	① 避難情報の枠組みと 防災行政における 最近の動き についての講義	休 憩	被災自治体の 災害対応体験 についての講義	休 憩	図上訓練説明 班編成 河川情報センター 危機管理業務部
2日目	事前説明 訓練準備		② 図上訓練（実技:4時間30分）					休 憩	振り返り 講評	休 憩	③ 災害時の想定行動 についての討論		閉 講 式

FRICS 一般財団法人 河川情報センター

【お問合せ】危機管理業務部 担当：谷川、青木（お問合せのみ）
住所：〒102-8474 東京都千代田区麹町1丁目3番地（ニッセイ半蔵門ビル）
E-mail：kiki-kenshu@river.or.jp TEL：03-3239-8447

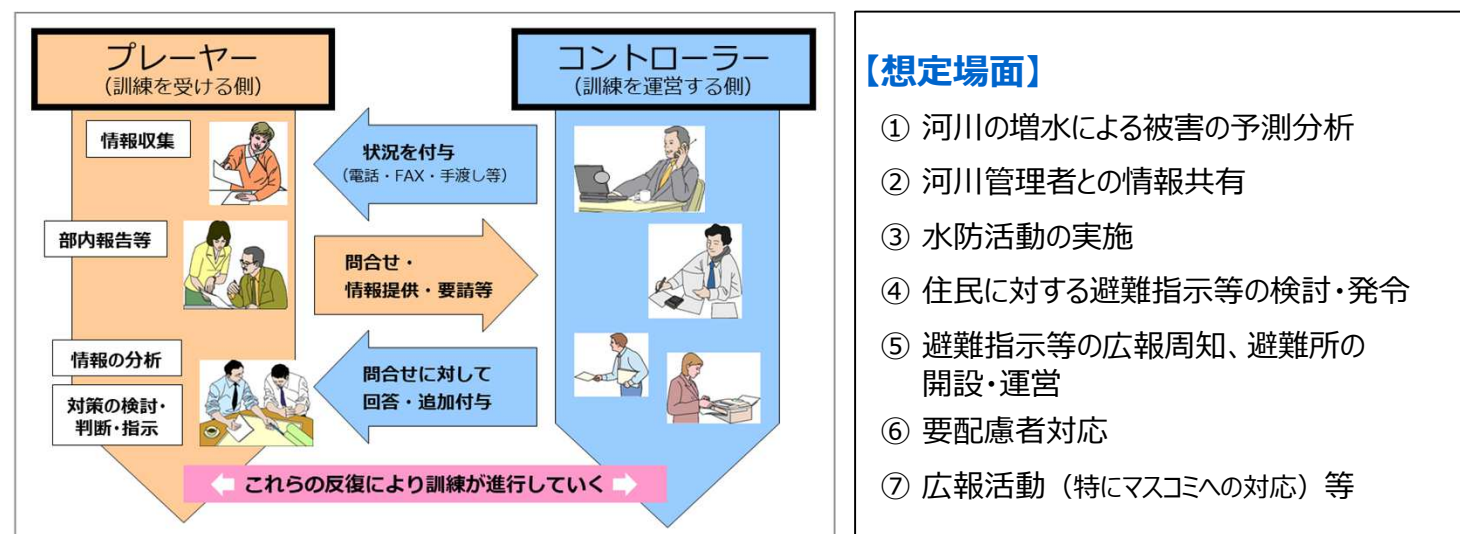
研修内容

■ 防災や災害対応についての講義

講義内容（予定）	講師（予定）
水防行政の最新の取組状況について	国土交通省 水管理・国土保全局
避難情報の枠組みと防災行政における最近の動き	内閣府（防災）
被災自治体の災害対応体験について	市町村の防災担当者

■ ロールプレイング方式の図上訓練

- ◇ ロールプレイング方式による災害危機管理訓練を実際に体験します。
- ◇ 想定シナリオは、洪水による被害が予想される自治体の災害対策本部の要員として、情報を収集・分析し、被害を予測し、住民に避難を呼びかける等の対応を実施する場面を予定しています。



【訓練の特徴】

- ① 実際の災害時に近い状況の中で、自分自身の判断が求められます。
- ② 平常時とは大きく異なる、災害時の判断基準や優先順位を実践的に体験します。
- ③ 押し寄せる情報から、「今、何をなすべきか」を判断し実行することが必要となります。
- ④ シナリオはダイナミックに変化し、判断を誤ると状況は悪い方向に展開します。

■ 図上訓練結果を踏まえた討論

図上訓練を振り返り、災害対策本部の要員としてどのように行動すべきだったのか、これまでの経験・知識なども踏まえ、全員で討論・発表を行い、レベルアップを図ります。



● 当研修は公益社団法人土木学会認定CPDプログラムの認定を予定しています。